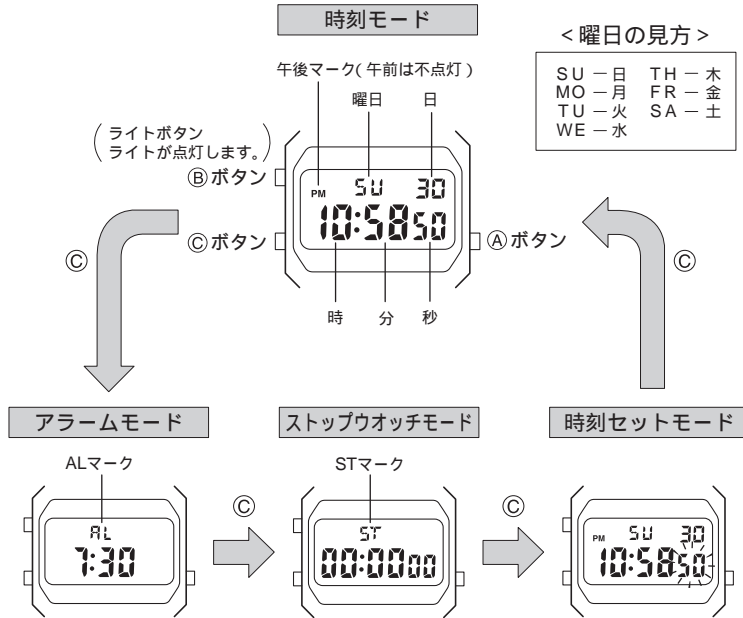


操作のしくみと表示の見方

◎ボタンを押すごとに以下の順でモードが切り替わります(押すごとに確認音が鳴ります)。

各モードで(A)または(B)ボタンを押した後、◎ボタンを押すと直接時刻モードに戻ります。

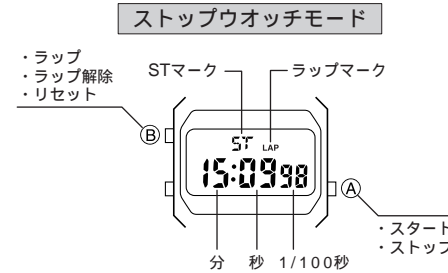


時刻モードで(A)ボタンを押すごとに12時間制表示と24時間制表示(24Hが点灯)とが切り替わります。

ストップウォッチの使い方

操作のしくみにしたがって◎ボタンを押し、ストップウォッチモードにします。

ストップウォッチは1/100秒単位で59分59秒99(60分計)まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。



計測のしかた

(A)ボタンを押すごとに確認音が鳴ります。

積算計測

ロスタイムのある場合には、ストップ後リセットせずに再スタート(A)ボタンを押す)すれば表示タイムに引き続き計測をはじめます。

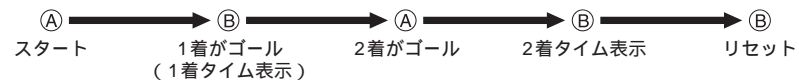
通常の計測



ラップタイム(途中経過時間)の計測



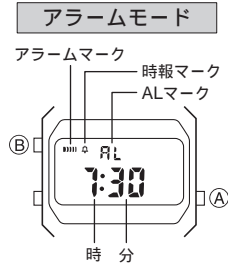
1着・2着同時計測



ストップウォッチを使用中に◎ボタンを押して時刻モードなど他のモードにしても、その計測には影響ありません(ラップ計測時を除く)。

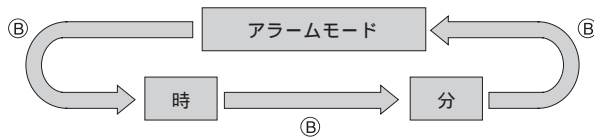
アラームの使い方... 操作のしくみにしたがって **Ⓒ** ボタンを押し、アラームモードにします。

アラームは分単位でセットでき、セット時刻になると20秒間電子ブザーで知らせます。
また、毎正時(00分のとき)を“ピピッ”と電子ブザーで知らせる時報もセットすることができます。





セットのしかた

- 1 アラームモードのとき、**Ⓑ** ボタンを押すごとに点滅個所が以下の順で移動。
Ⓑ ボタンでセットしたい個所を点滅させます。



- 2 **Ⓐ** ボタンを押しながら表示をセットします(押すごとに1つずつ進み、押し続けると早送り)。
時のセットのとき午前/午後にご注意ください。
時刻表示を24時間制表示にしているときはアラーム時刻も24時間制表示となります。
- 3 セットが終わったら、**Ⓑ** ボタンを押してアラームモードに戻します(**Ⓒ** ボタンを押すと時刻モードに戻ります)。
アラームモードのセットで表示を点滅させたままにしておくと、1~2分後自動的に時刻モードに戻ります。

アラーム、時報のON / OFF

アラームモードのとき、**Ⓐ** ボタンを押すごとにアラームマーク 、時報マーク  が点灯、不点灯をくりかえします。
アラームマークまたは時報マークが点灯しているときがONの状態です。

モニターアラーム

アラームモードで **Ⓐ** ボタンを押し続けると電子ブザーが鳴ります。

鳴っている電子ブザーを止めるには

- 1 **Ⓑ** ボタンを押します。

秒の合わせ方 (± 30 秒の修正)

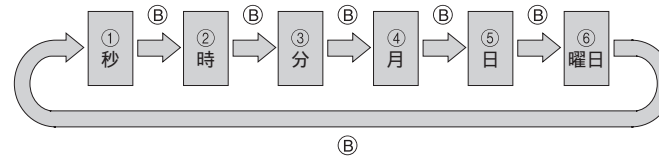
Ⓒ ボタンを押して時刻セットモードにし(秒が点滅)、時報に合わせて **Ⓐ** ボタンを押すと00秒からスタートします。

《 00 ~ 29秒のときは00秒へ戻り、30 ~ 59秒のときは1分くりあがって 》
00秒からスタートします。

Ⓒ ボタンを押すと時刻モードに戻ります。
時報は「時報サービス電話 117番」が便利です。

時刻・カレンダーの合わせ方

- 1 時刻セットモード(秒が点滅)のとき、**Ⓑ** ボタンを押すごとに以下の順で点滅が移動。**Ⓑ** ボタンでセットしたい個所を点滅させます。



- 2 **Ⓐ** ボタンを押しながら表示をセットします(押すごとに1つずつ進み、押し続けると早送り)。
「時」のセットのとき午前/午後、24時間制表示にご注意ください。
時刻モードのとき「月」は表示されませんが、オートカレンダー機能のため「月」を合わせます。
- 3 **Ⓒ** ボタンを押すと時刻モードに戻り、セット完了。
時刻セットモードで表示を点滅させたままにしておくと、1~2分後自動的に時刻モードに戻ります。

カレンダーは大の月、小の月を自動判別するオートカレンダーですので、うるう年の2月29日以外は修正不要です。